

令和 6 年度 第 4 四半期（2025 年 1 月～3 月）景況動向調査結果

十和田商工会議所 中小企業相談所

1. 調査対象

(1)対象企業数 十和田商工会議所会員 25 事業所

内訳:建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業 各 5 事業所

(2)回答企業数 有効回答＝24 事業所(回答率 96%)

2. 調査対象期間

今期＝2025 年 1 月～3 月

- ・前年同月比＝前年同期(2024 年 1 月～3 月)と比べた今期の状況
- ・前期比＝前期(2024 年 10 月～12 月)と比べた今期の状況
- ・先行き見通し＝今期と比べた来期(2025 年 4 月～6 月)の見通し

3. 調査期間 2025 年 3 月 13 日～3 月 24 日

4. 表示方法

本報告書中の「DI」とは、「ディフュージョン・インデックス、景気指数」の略で、各項目について、「上昇・増加」と回答した企業の割合から「下降・減少」と回答した企業の割合を引いた数値である。

DI値が 0 より上の場合＝景気は上向き

DI値が 0 の場合 ＝景気は横ばい

DI値が 0 より下の場合＝景気は下向き

5. 調査項目ごとの状況

(1) 業況DI

業況DIの現況判断は▲33.3 で、業種別にみると「小売業」が 0.0 で最も高く、「卸売業」「サービス業」が▲39.8 で続いている。

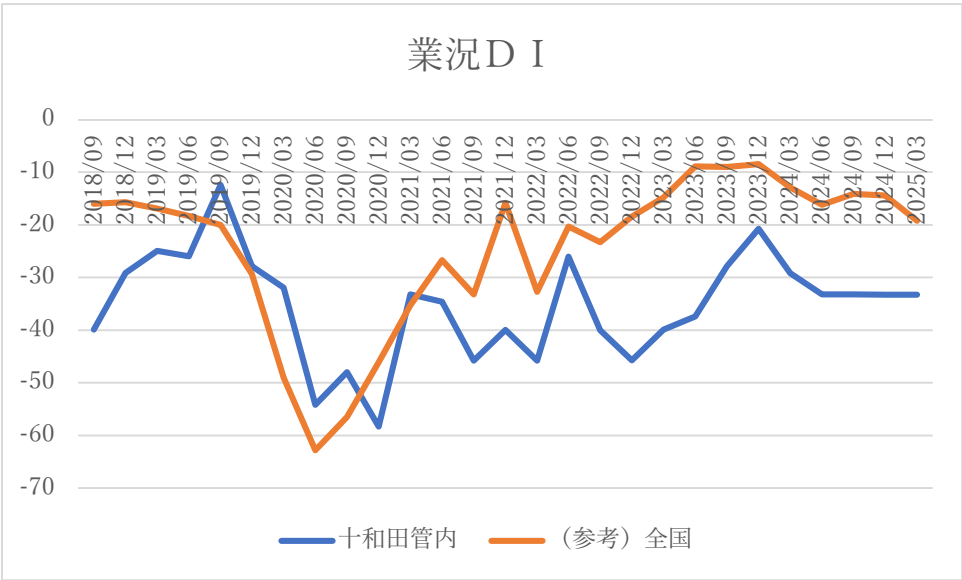
先行きは 12.4p悪化の▲45.7 で、業種別では「製造業」で改善、「卸売業」「小売業」「サービス業」で悪化となっている。

図表1 業況DI

	2024 年 10～12 月期 (前回調査)	前期比	2025 年 1～3 月期 (今回調査)	前期比	2025 年 4～6 月期 (先行き)	今期比
全産業	▲33.3	↘	▲33.3	→	▲45.7	↘
建設業	▲60.0	↘	▲40.0	↗	▲40.0	→
製造業	▲40.0	→	▲40.0	→	▲19.8	↗
卸売業	▲39.8	↗	▲39.8	→	▲59.8	↘
小売業	0.3	↗	0.0	↘	▲50.0	↘
サービス業	▲20.0	↘	▲39.8	↘	▲59.8	↘
(参考)全国全産業	▲14.4	↘	▲19.2	↘	▲16.1	↗
(参考)東北全産業	▲20.7	↗	▲29.1	↘	▲24.0	↗

※（参考）は日本商工会議所 L O B O 調査の値を参照

D I = （好転の回答割合）－（悪化の回答割合）



（２）売上高ＤＩ

売上高DIの現況判断は▲33.2 で、業種別にみると「小売業」が 0.0 で最も高く、「卸売業」が▲19.8 で続いている。

先行きは 8.3p 悪化の▲41.5 で、「建設業」で改善、「製造業」「小売業」「サービス業」で悪化となっている。

図表２ 売上高ＤＩ

	2024 年 10～12 月期 (前回調査)	前期比	2025 年 1～3 月期 (今回調査)	前期比	2025 年 4～6 月期 (先行き)	今期比
全産業	▲37.3	↘	▲33.2	↗	▲41.5	↘
建設業	▲100.0	↘	▲79.8	↗	▲60.0	↗
製造業	▲40.0	→	▲20.0	↗	▲39.8	↘
卸売業	▲20.0	↗	▲19.8	↗	▲19.8	→
小売業	▲24.5	→	0.0	↗	▲50.0	↘
サービス業	0.4	↗	▲39.6	↘	▲39.8	↘
(参考)全国全産業	▲0.4	↗	▲6.4	↘	▲6.8	↘

※（参考）は日本商工会議所ＬＯＢＯ調査の値を参照

DI = （増加の回答割合）－（減少の回答割合）

（３）採算ＤＩ

採算DIの現況判断は▲37.4 で、業種別にみると「サービス業」が▲19.8 で最も高く、「小売業」が▲25.0 で続いている。

先行きは 4.2p 悪化の▲41.6 で、「卸売業」「小売業」で悪化、その他の業種で横ばいとなっている。

図表３ 採算ＤＩ

	2024 年 10～12 月期 (前回調査)	前期比	2025 年 1～3 月期 (今回調査)	前期比	2025 年 4～6 月期 (先行き)	今期比
全産業	▲37.4	↗	▲37.4	↗	▲41.6	↘
建設業	▲60.0	↘	▲60.0	↘	▲20.0	→
製造業	▲60.0	↘	▲40.0	↘	▲20.0	→
卸売業	▲19.8	↗	▲39.8	↗	▲59.8	↘
小売業	▲24.8	→	▲25.0	→	▲75.0	↘
サービス業	▲20.0	↗	▲19.8	↗	▲40.0	→
(参考)全国全産業	▲14.7	↗	▲19.4	↗	▲16.1	↘

※（参考）は日本商工会議所ＬＯＢＯ調査の値を参照

DI = （好転の回答割合）－（悪化の回答割合）

（４）資金繰りＤＩ

資金繰りDIの現況判断は▲25.0で、業種別にみると「サービス業」が0.0で最も高く、「卸売業」が▲19.8で続いている。

先行きは4.2p改善の▲20.8で、「製造業」で改善、その他の業種で横ばいとなっている。

図表４ 資金繰りＤＩ

	2024 年 10～12 月期 (前回調査)	前期比	2025 年 1～3 月期 (今回調査)	前期比	2025 年 4～6 月期 (先行き)	今期比
全産業	▲29.2	↘	▲25.0	↗	▲20.8	↗
建設業	▲40.0	↘	▲40.0	→	▲40.0	→
製造業	▲60.0	↘	▲40.0	↗	▲20.0	↗
卸売業	▲20.0	↘	▲19.8	↗	▲19.8	→
小売業	0.0	↗	▲25.0	↘	▲25.0	→
サービス業	▲20.0	↘	0.0	↗	0.0	→
(参考)全国全産業	▲10.0	↗	▲14.1	↘	▲12.1	↗

※（参考）は日本商工会議所ＬＯＢＯ調査の値を参照

ＤＩ＝（好転の回答割合）－（悪化の回答割合）

（５）仕入単価ＤＩ

資金繰りDIの現況判断は▲66.7で、業種別にみると「建設業」「卸売業」「サービス業」が▲60.0で最も高く、「小売業」が▲75.0で続いている。

先行きは4.1p悪化の▲70.8で、「製造業」で改善、「建設業」「卸売業」で悪化となっている。

図表５ 仕入単価ＤＩ

	2024 年 10～12 月期 (前回調査)	前期比	2025 年 1～3 月期 (今回調査)	前期比	2025 年 4～6 月期 (先行き)	今期比
全産業	▲75.0	↘	▲66.7	↗	▲70.8	↘
建設業	▲40.0	↗	▲60.0	↘	▲80.0	↘
製造業	▲100.0	↘	▲80.0	↗	▲60.0	↗
卸売業	▲80.0	→	▲60.0	↗	▲80.0	↘
小売業	▲75.0	→	▲75.0	→	▲75.0	→
サービス業	▲80.0	↘	▲60.0	↗	▲60.0	→
(参考)全国全産業	▲66.1	↘	▲66.6	↘	▲57.2	↗

※（参考）は日本商工会議所ＬＯＢＯ調査の値を参照

ＤＩ＝（下落の回答割合）－（上昇の回答割合）

(6) 従業員DI

従業員DIの現況判断は 0.3 で、全ての業種でやや不足となっている。

先行きは横ばいの 0.3 で、全ての業種で横ばいとなっている。

図表 6 従業員DI

	2024 年		2025 年		2025 年	
	10～12 月期 (前回調査)	前期比	1～3 月期 (今回調査)	前期比	4～6 月期 (先行き)	今期比
全産業	0.2	→	0.3	↗	0.3	→
建設業	0.4	↗	0.2	↘	0.2	→
製造業	0.0	→	0.0	→	0.0	→
卸売業	0.2	→	0.4	↗	0.4	→
小売業	0.0	→	0.3	↗	0.3	→
サービス業	0.2	↘	0.4	↗	0.4	→
(参考)全国全産業	22.2	↗	22.7	↗	22.1	↘

※（参考）は日本商工会議所 L O B O 調査の値を参照

DI = （不足の回答割合）－（過剰の回答割合）

6. 業況感等に関する自由記述

コメント	業種
メーカー取引の部品メーカーで事故があり、業況が不透明。	小売業
光熱費、人件費、修繕費、消耗品費、仕入れ、全て値上げになっていて、当社のような薄利多売のような商売はとても厳しい。	サービス業